
スモールグループ聖書研究の手引き

キリストに出会った人々

第2部 ヨハネの福音書より



この手引きは、キリストとの出会いを体験された方々が、さらに深く、キリストがどのようなお方であるかを知るためにつくられました。第1部と同様、グループで学ぶ前に個人で良く準備されるようにお勧めします。グループでの学びでは、ひとりの人がディスカッションを独占してしまわないように注意をしなければなりません。あなたが積極的にディスカッションに加わってくださらなければ、あなたにとって得るものも少なくなることでしょう。6回の学びを最後まで果たされ、キリストを知る知識に進まれるよう、ここから祈ります。

1. ここに登場するヨハネは、この福音書の著者、キリストの弟子ヨハネとは別人物です。彼は「バプテスマのヨハネ」と呼ばれましたが、なぜそう呼ばれましたか。
2. 「バプテスマ」とは何ですか。ヨハネが人々に授けていたバプテスマは、今日の教会で行っているバプテスマとどう違いますか。
3. ユダヤ人はバプテスマのヨハネに、「あなたは、キリストですか。エリヤですか。あの預言者ですか」と尋ねました。ヨハネはそれぞれの質問にどう答えましたか (20, 21, 25)。
4. ヨハネは自分を「声」 (23) だと言いましたが、それは、キリストが「ことば」 (1:1, 2) と呼ばれているのに対してどのような意味があると思いますか。
5. バプテスマのヨハネは「なぜバプテスマを授けるのか」との質問にどう答えましたか (26, 27)。彼は何を期待して人々にバプテスマを授けていたのでしょうか。
6. バプテスマのヨハネはイエスをどのように呼びましたか (29)。この呼び名にはどんな意味がありますか。
7. 「世の罪」とは何でしょうか。あなたの罪も、「世の罪」の中に含まれていると思いますか。(1:10, 11; 3:18-20; 5:38; 9:41; 16:8-11 参照)

8. イエスは「神の子羊」として、どのように世の罪を取り除かれるでしょうか。

9. バプテスマのヨハネはイエスをどんなにすぐれた人物だと言いましたか (27, 30) 。
あなたは今までにどんなすぐれた人に会ったことがありますか。

10. イエスはバプテスマのヨハネの後に生まれ、彼が捕らえられてから活動を始めたのに (マルコ 1:14、ルカ 1:5-38) 、どうしてイエスはバプテスマのヨハネより先にいたと言えるのでしょうか。イエスはどのくらい以前からいらっしやったのでしょうか (1:1, 2; 8:58) 。

11. バプテスマのヨハネは、イエスが「神の子」、キリストであることをどのようにして知りましたか (32-34) 。

12. あなたは、イエスがバプテスマのヨハネが証言したとおりのお方であることを信じますか。あなたもまた、バプテスマのヨハネのように他の人にイエスをあかしすることができますか。

ご承知のように、あなたがたが先祖から伝わったむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、傷もなく汚れもない小羊のようなキリストの、尊い血によったのです。

ペテロの手紙第一 1:18, 19

1. イエスとニコデモの会談は、いつどこで行われましたか。
2. ニコデモはイエスを「神からの教師」と認め、イエスをほめました。なぜイエスはそれには答えず、すぐに「人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません」と言われたのでしょうか (2, 3)。
3. イエスは「よくよくあなたに言うておく」 (3) という言い方を何度もしておられますが、この言い方にはどのような意味がありますか。
4. 「神の国を見る」 (3) とは、どういうことでしょうか。あなたは、「神の国」または「天国」をどのようなものと考えていますか。聖書はどう教えていますか。
5. ニコデモは「新しく生まれる」ということをどのように理解しましたか。あなたも「生まれ変わるものなら」という願いを持ったり、「生まれ変わった気持ちになって」努力したりしたことがありますか。それは、イエスの言う意味での「新しく生まれる」こととどうちがいますか。
6. あなたが、もう一度赤ちゃんになって生まれてきたとして、あなたは神の国に入ることができるだけの善行を積むことができると思いますか。人間の努力で神の国に入ることができると思いますか (3:6; 6:6; I コリント 15:50 参照)。
7. 「水と霊から生まれる」とは、何のことをさしているのでしょうか。(創世記 1:1, 2、エゼキエル 36:25, 26 参照)

8. 聖霊の働きが風の働きにたとえられているのはなぜでしょう (8)。聖霊と風はどんな点で似ていますか。どんな点で違っていますか。

9. ニコデモは、イエスの説明を聞いても、まだ理解できませんでした (9)。それはなぜでしょう (11, 12)。

10. イエスはご自分がどこから来られたと主張しておられますか (13)。それは、ニコデモがイエスを「神のもとから来られた教師」と呼んだのと、どう違いますか。なぜイエスはこのことを主張しなければならなかったのでしょうか。(3:31-36; 6:62; 13:1; 17:5 参照)

11. 「荒野のへび」は、イエスについて何をあらわしていますか。(民数記 21:4-9 参照)

12. 天からくだってきたイエスはどのようなしかたでふたたび天にあげられるのでしょうか。それは、何のためですか (15)。

イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」 ヨハネの福音書 3:3

1. イエスはどこに行く途中、サマリヤに寄られたのですか (3)。

2. イエスが「サマリヤを通って行かなければならなかった」 (4) のは、どんな理由からだと思えますか。

3. イエスがサマリヤの女性と一対一で話すことができたのは、なぜですか。弟子たちはこの時どこにいたのでしょうか (8)。なぜ、井戸には、他の女性たちがいなかったのでしょうか。

4. サマリヤの女性はイエスから声をかけられた時、なぜおどろいたのですか (9)。

5. イエスを避けようとしたサマリヤの女性が、イエスに興味を持ったのはなぜですか (10-12)。この時、サマリヤの女性の心に、どのような飢え渇きがあったと思えますか。

6. イエスは何のことを「生ける水」と呼ばれたのでしょうか。サマリヤの婦人はそれをどのように理解したと思えますか。(7:37-39 参照)

7. イエスは何のために彼女の夫のことに触れたのでしょうか (16)。それに触れることはなぜ必要だったのでしょうか。あなたにも、だれからも触れてもらいたくないものがありますか。それはすでに解決されていますか。

8. サマリヤの女性は、礼拝の場所について質問しますが（19, 20）、それは、自分のことから話題を移すためだったのでしょうか。もし、そうだとしたら、あなたも、おなじようなことをした経験がありますか。

9. イエスは礼拝の場所、礼拝の態度についてどんなことを教えられましたか（21-24）。今日、「真の礼拝」はどこで見られますか。あなたの生涯に、まことの礼拝の 때가すではじまっていますか。

10. サマリヤの女性はイエスのことを最初は誰だと考えましたか（19）。次に、誰だと考えましたか（25）。あなたはイエスをどのようなお方と考えていますか。

11. イエスは、サマリヤの女性に、「わたしがそれです」と、ご自分がキリストであることを示されました（26）。彼女はこのことばを聞いてどうしましたか（4:28, 29）。彼女もイエスがキリストであると、信じたと思いますか。

12. サマリヤの女性は町の人々にイエスのことを伝えたのに、町の人々からは重んじられませんでした（42）。あなたは、この女性と同じように扱われたとしても、イエス・キリストを伝え続けますか。

「だれでも渇いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」

ヨハネの福音書 7:37, 38

1. 当時、ハンディキャップを持った人たちはどんな生活をしていましたか (8)。イエスがこの目の見えない人を「見た」 (1) のは、何のためだったのでしょうか。

2. 弟子たちは、この目の見えない人の前でどんな議論をしましたか (2)。彼はその議論を聞いてどう思ったでしょう。

3. 弟子たちの議論は、不幸の原因についてでした。あなたは、いままで、それをどう考えていましたか。今は、どう考えていますか。イエスは不幸の原因について何か語っておられますか (3)。

4. イエスをご自分を「世の光」と主張しながら、その光が隠れてしまう「夜が来る」と言っておられます (4, 5)。これは、何を言おうとしているのでしょうか。

5. イエスは、この人の目を即座に開けないで、シロアムの池で目についたどろを洗うように命じました (7)。それはなぜでしょうか。「シロアム」という名にはどんな意味がありますか。

6. パリサイ人は、この人やその両親になぜ、とやかく尋問したのでしょうか (13-23)。

7. パリサイ人はイエスをどんな人だと言いましたか (24)。イエスに目を開けてもらった人はそれにどう反論しましたか (31-33)。

8. 彼はパリサイ人たちによって「外に追い出され」ました (34)。これは何を意味しますか (22)。

9. イエスは「神のわざがこの人に現われるため」 (3) と言われましたが、この人にのぞんだ迫害も、神のわざのひとつとして受け入れるべきなのでしょうか。

10. パリサイ人に追放された彼を迎えてくださったのは誰ですか (35-38)。人には退けられても、主に受け入れられ慰められた経験を、あなたは持っていますか (詩篇 27:10)。

11. 彼は、目を開けてもらったから、自分の目でイエスを見たから信じることができたのでしょうか。信じるか信じないかは、本当は何によって決まると思いますか。

12. 多くの人が会堂から追放されるのを恐れて、イエスを告白しなかったのに (12:42)、彼はイエスを告白しました。あなたは、今、イエスを告白するのに、何かためらいがありますか。(マタイ 10:32, 33 参照)

「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」

ヨハネによる福音書 8:12

1. イエスの時代、どんな人々がユダヤを治めていましたか（ルカ 3:1, 2）。ピラトはその中でどんな役割をしていましたか。
2. イエスはピラトのもとに連れてこられるまで、誰のところに連れて行かれ、どのような扱いを受けましたか（18:12-14）。こうしたできごとは、いつ起こりましたか（13:1; 18:28）。
3. 人々はどのような意図を持って、イエスをピラトのもとに連れてきたのでしょうか。
4. ピラトがイエスに「あなたは、ユダヤ人の王ですか」（33）と尋ねたのはなぜでしたか。もし、イエスが政治的な意味でユダヤ人の王であったら、ピラトはイエスをどうしなければなりませんでしたか。
5. イエスは「わたしの国はこの世のものではありません」（36）と言われました。それでは、イエスの国はどのような国でしょうか。
6. イエスをご自分が王であると宣言されました。この王は何のためにこの世に来られ、どのような人がこの王に従うのでしょうか（37）。イエスがそのような王であるなら、ピラトは何をしなければなりませんでしたか。あなたは何をしなければなりませんか。
7. ピラトが言った「真理とは何ですか」（38）という問いに対する答は何でしょうか。（ヨハネ 14:6 参照）

8. ピラトはイエスを赦そうとしてどんな提案をしましたか。ユダヤ人はこの提案を受け入れましたか (39, 40)。

9. イエスはピラトにまさる権威を持っておられたのに、なぜ、ピラトの権威の下に立たれたのでしょうか。なぜ、ご自分を救おうとなさらなかったのでしょうか (11; 10:18 参照)。

10. ピラトは、イエスに罪を認めることができず、彼を赦したいと願ったのに、結局、イエスを十字架に引き渡しました。どんな圧迫を受けて彼はそうしたと思いますか (12)。

11. イエスの罪状書きは何でしたか (19)。「ユダヤ人の王」ということばには、どのような意味がありますか。

12. あなたは、このような罪状書きをつけられて死なれた方を、自分の救い主、王、主として受け入れ、この罪状書きに書かれた名を愛しますか。(使徒 4:12、ピリピ 2:9-11 参照)

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」
ヨハネの福音書 14:6

1. イエスの復活はいつ起こりましたか (20:1)。

2. イエスの復活を最初に告げ知らせたのは、誰でしたか (ルカ 24:8-11)。この時、男の弟子たちは何をしていましたか (19)。

3. 彼らは、その知らせを聞いても、イエスの復活を信じるできませんでした。それはなぜですか (20:9)。

4. イエスは弟子たちにどのような使命と権威をお与えになりましたか (21-23)。彼らがこの使命を果たすために、必要なものは何でしょうか。弟子たちはいつそれを受け取りましたか (使徒 1:8; 2:1-4)。

5. 他の弟子たちが「復活されたイエスに会った」と言った時、トマスは何と言ってそれに反対しましたか (25)。あなたにも、トマスと同じように考えていた時がありましたか、今もそう考えていますか。

6. イエスは何と言ってトマスにご自分を示されましたか (27)。イエスのことばから、イエスのどのようなお気持ちを感じることができますか。

7. 復活されたイエスの手には釘あとが、わき腹には槍の傷あとが、まだ残されていました。これらの傷あとは私たちにどんなメッセージを伝えていますか (イザヤ 53:5、I ペテロ 2:24)。

8. トマスはイエスを見て何と言いましたか (28)。あなただったら、イエスに何と言いますか。

9. イエスは、トマスにあらわれたように、今もその姿をあらわされるのでしょうか。「見ずに信じる」ことができるために、私たちには何が与えられていますか (30-31)。

10. ヨハネはこの福音書をどのような目的で書きましたか (31)。あなたは、聖書によって「イエスが神の子キリストである」と信じることができましたか。

11. 信じたあなたは、自分が神の子とされたこと (1:12)、永遠の命をもっていること (3:16)、死から命に移っていること (5:24)、聖霊を受けていること (7:38,39) を確信していますか。

12. あなたは、「見ずに信じる者は幸いです」ということばを、毎日の生活の中でどのように味わっていますか。(Ⅱコリント 4:18; 5:16、ガラテヤ 3:1、ヘブル 11:1; 12:2、Ⅰペテロ 1:8、Ⅰヨハネ 3:2 参照)

あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見てはいないけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。

ペテロの手紙第一 1:8